

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	わかば園		
○保護者評価実施期間	令和6年 3月 4日		～ 令和6年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27名	(回答者数) 22名
○従業者評価実施期間	令和6年 3月 1日		～ 令和6年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数) 20名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 1月 29日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・利用者にわかりやすく構造化された生活空間の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・障害の特性に応じて、パーティションで仕切り、気持ちを切り替えられるようにしたり、布などを利用し視覚情報を整理したり等して環境を整えている。 ・本人がわかり易いように絵カードや写真を利用したり、実物を見せたりしている。 ・肢体クラスの利用児には遊びや生活の中で五感で感じる環境の工夫を多く取り入れる事で分かり易さを伝えられるようにしている。(シールが分かり易いように凹凸をつける・集まりの時は同じ歌で始まる・絵を描く時に筆の動きが分かり易い凹凸のある画板を利用する等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・児の困り感から想定される好ましい環境が整えられるよう、保護者を含めた関係者間でのアセスメントを十分に行うと共に研修の場等も利用し、多角的な視点をもち対応できるようにしていく。 ・職員間でさまざまなアイデアの共有や実践が行えるような工夫をしていく。
2	・活動プログラムの立案や支援計画のアセスメントや作成を他職種とも連携し、チームで行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の振り返りをもとに、次回のプログラム内容や支援内容について、クラス担当者全員で考えている。 ・朝礼や会議の中で年間の保育、月の目標について話し合いを行っている。 ・保護者からの聞き取りやアセスメントから必要な支援内容を設定している。 ・児童発達支援管理責任者だけでなくクラス担当者に加わることで、客観性や違った視点での意見や分析をもとに個別支援計画の作成が出来るようにしている。 ・具体的な支援内容を設定することで、子供に関わる人達が共通認識しやすくなっている。 ・こども未来診療所のセラピストが保育参加をする機会や保育士と一緒に保育についての検討会を持つことで、様々な視点からの情報を基に活動プログラムの立案、支援計画の作成が出来ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き保護者の要望も踏まえ、児童発達支援管理責任者、クラス担当者、セラピスト等の職員間でのアセスメントを丁寧に行い、活動プログラムの立案や支援計画の作成を行い、お子様に関わる職員が一丸となり、共通した目標のもと、支援を行い連携出来るようにしていく。
3	・保護者支援・家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・親子通園の利点を活かし、懇談時や分離時間等を活用しながら、子供の発達状況や課題、支援方法について情報共有をしている。 ・知的発達クラス3歳児はペアレントプログラムを園内で実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後もOB・OG勉強会や家族、保護者参加デー等の家族支援プログラムを実施していくと共に親子療育の利点を活かした保護者への支援(療育の目的の説明や支援の解説、お子様の強みを知らせる等)を継続して行っていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や障害のない子供と活動する機会の確保。	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所との交流は行っているが、全ての園児が参加出来ない。交流園が閉園となるケースもあるので現在行っている交流の持ち方も含めて内容や方法を検討していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交流出来る園や場(地域の公園等)を増やすことや、わかば園内での交流内容や対象児、方法を再検討した上で、現在の交流園と交流の持ち方についての協議を行っていく。
2	・事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等や安全計画に基づく取り組み内容について家族等への周知。	<ul style="list-style-type: none"> ・未来センター、わかば園としてはマニュアルを策定しているが、保護者がいつでも閲覧出来る環境は現在、整えられていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に向けて各マニュアルを可視化するため、手に取りやすい場所の設定を検討していき、周知の方法を検討する。
3	・父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者支援の観点から各クラスでの活動やクラス内での支援が中心となっている。また、保護者同士の連携も以前より希薄な状態がみられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・親子通園の利点を活かし、保護者支援の一環として保護者同士が繋がる懇親会、情報提供等の勉強会、先輩の話を聞く会など年度当初に計画をする。